課題番号22

小麦の安定生産

対象：奈井江町　秋まき小麦作付農家戸数　３２戸

１　活動の背景 **********

現 状

・水稲 ＋ 転作作物（小麦）の体系　・小麦の栽培品種は５品種
・水稲優先の栽培管理　・新規作付者や世代交代も

課 題

小麦栽培の基本管理技術の習得と実践

対応策

普及センターの提案（小麦栽培適正管理５項目）
① 適期・適量は種　② 生育に合わせた分追肥
③ 基幹防除の徹底　④ 雑草管理　⑤適期収穫

個々農業者が基本管理技術を習得し実践 ⇒ **地域の小麦生産技術が向上** ⇒ **小麦の収量・品質向上**

適正管理項目の実施農家戸数
現状：０戸 → 目標：１３戸

２　活動の経過 **********

① 栽培管理の提案

FAX情報配信
１０回

② 展示ほ設置・生育調査

設置数
３カ所

調査結果は、FAX情報や現地研修会でフィードバック

③ 施肥設計

施肥設計点数
６６点

次年度作付に向けた施肥提案

④ 研修会開催

実施回数
３回

５月　現地研修会
７月　穂水分調査・講習会
１２月 反省会

3　成果の具体的内容 **********

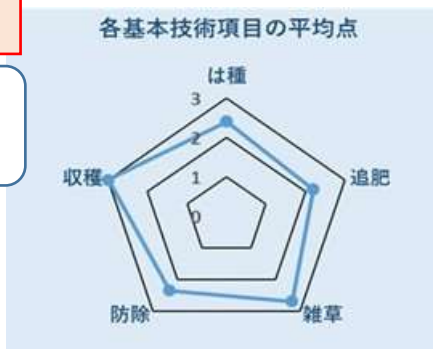
普及センターからの提案技術は実践されたか?

生産者	評価	は種	追肥	雑草	防除	収穫
A	2.8	2	3	3	3	3
B	2	2	2	1	2	3
C	2.2	2	2	2	2	3
D	2.2	2	2	2	2	3
E	2.4	3	2	2	2	3
F	2.6	3	2	2	3	3
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

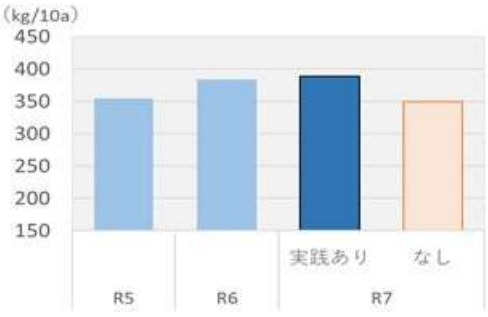
「評価」2.6以上の生産者を実施達成農家としてカウント

適正管理項目の実施農家戸数
実績：２０戸　到達率：１５４％

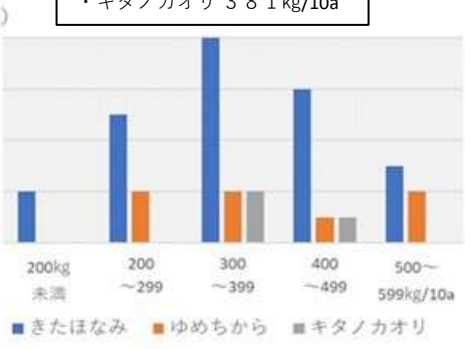
基本技術５項目を生産履歴より採点。
各項目それぞれ３点満点、
最低点１点の点数付け。
　３点：出来ている
　２点：もう一歩
　１点：出来ていない



７産の小麦の収量はどうだった?

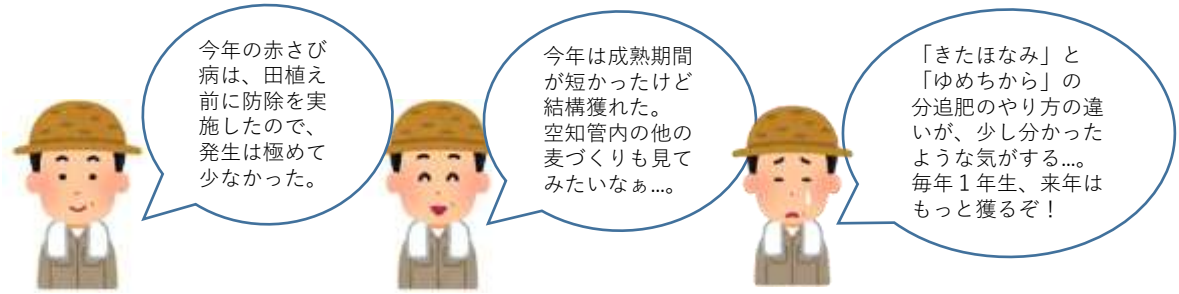


平均製品収量
・きたほなみ　３６７kg/10a
・ゆめちから　３９９kg/10a
・キタノカオリ ３８１kg/10a



本年６～７月の高温多照少雨の厳しい気象条件下でも、提案技術実践者は製品反収６以上俵を確保

小麦栽培に対する生産者の意識は?



4　今後の課題と対応 **********

・継続した基本技術の励行　・きたほなみの収量格差是正（平準化）

【作成者　空知農業改良普及センター中空知支所　専門主任　松浦　準】